

糖尿病患者における血糖コントロール、食生活、運動習慣、糖尿病治療の理解度とストレス対処能力の関連に関する後方視観察研究へのご協力をお願い

糖尿病の合併症の予防には血糖値をコントロールが重要ですが、身体的ストレスや心理的なストレスで、血糖値が上昇することや食欲が増えることが知られています。

ストレスに対処する能力には個人差があり、この差が糖尿病のコントロールに影響している可能性があります。両者の関連が示されることでよりよい糖尿病の治療に繋がると予測されるため、観察研究を実施させていただきたいと考えております。

### 2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	部長	田中亨	(責任研究医師)
京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	副部長	浅野麻衣	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	副部長	岩瀬広哉	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	専攻医	竹村堯拓	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	専攻医	杉立佳登	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院	糖尿病・内分泌内科	非常勤医師	大野友倫子	(分担研究医師)

### 3. 研究の方法

2019年4月1日～2021年3月31日に糖尿病・内分泌内科を受診に通院当院糖尿病・内分泌内科外来に通院され、「糖尿病患者におけるコホート調査研究」(当院倫理委員会受付番号790)で登録されたすべての患者を対象とします。解析期間は倫理委員会承認日より2024年12月31日とします。以下の項目が解析対象となります。

- ① 患者基本情報と疾患関連情報：糖尿病患者におけるコホート調査研究の登録項目
- ② 患者基本情報：性別、年齢、罹病期間、身長、体重など

疾患関連情報：投薬内容、検査所見(生化学検査など)、問診票より得た糖尿病に関する食生活や運動習慣、糖尿病治療に対する理解度、ストレス対処能力など  
本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。

本研究の結果は、個人情報保護に十分な配慮を行った形で、学会発表・医学論文として公表する予定です。

### 4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への不利益も直接の利益も生じません。ただし、研究の結果は疾患への理解を深めることで、今後の皆さんの治療に生かされる可能性があります。本研究への参加に関しては、本揭示をもって文書同意に

代えませんが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

### 5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

電話 075-561-1121 (代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 田中 亨 ([toru-tanaka@kyoto1.jrc.or.jp](mailto:toru-tanaka@kyoto1.jrc.or.jp))